

**施策名 だれもがいきいきと働けるまちづくり**

1124 所管局: **文化市民局** 共管局: なし

**概要** 勤労者のニーズに合わせた労働に関する情報の提供や学習機会の提供などを通じ、勤労者の福祉の向上を図り、誰もがいきいきと働けるよう支援を行う。

**総合評価**  
**C (c)** 客観指標評価は、勤労者福祉に関する情報を提供する情報システムへのアクセス件数が増加する一方で、勤労者を対象とした融資制度の新規利用が減少しており、全体としてはどちらとも言えないが、市民の生活実感は、厳しい雇用情勢の影響でやや悪い状況にある。  
 この施策の目的は、勤労者の福祉の向上を図るものであることから、客観的指標評価を重視して、総合的には施策の目的はそこそこ達成されていると評価する。

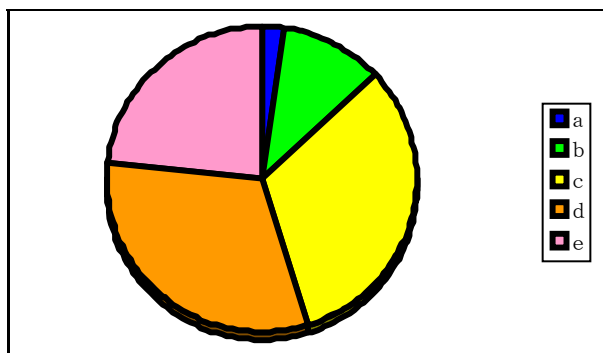
**○この施策の客観指標評価**

**客観指標総合評価 C (b)**

指標名	前回値	最新値	目標値	達成度	評価
(準)労働者金融対策(融資制度)件数(件)	362	159	328	48.5%	d (a)
(準)京都労働学校入学者数(人)	1502	1386	2287	60.6%	c (c)
(準)勤労者情報システムアクセス件数(件)	12425	16203	17056	95.0%	b (c)

**○この施策に関する市民生活実感評価**

だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。



答a: そう思う	11	2.1%	( 0.5%)
答b: どちらかというと思う	58	11.1%	( 7.0%)
答c: どちらとも言えない	168	32.1%	(27.3%)
答d: どちらかというと思う 思わない	165	31.5%	(33.0%)
答e: そう思わない	122	23.3%	(32.2%)
有効回答数	524		
<b>市民生活実感評価</b>		<b>d</b>	(e)

※ ( )は昨年の評価結果及び数値を表しています。

**<参考>この施策実現のための主な事業**

- 事業名**
- 労働学校運営
  - 勤労者情報システム整備
  - 労働者金融対策(融資制度)
  - 労働団体助成